



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

平成26年1月30日

上場会社名 オムロン株式会社

上場取引所 東証 市場第一部

コード番号 6645

URL <http://www.omron.co.jp/>

代表者 役職名 代表取締役社長
氏名 山田 義仁

問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長
氏名 大上 高 充

TEL (075)344-7070

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	552,393	19.1	48,345	73.6	46,418	64.5	33,947	64.1
25年3月期第3四半期	463,681	2.4	27,848	△7.6	28,216	7.2	20,684	77.7

(注) 四半期包括利益 26年3月期第3四半期 65,779百万円(118.1%) 25年3月期第3四半期 30,165百万円(—%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第3四半期	154	22	—	—
25年3月期第3四半期	93	96	93	96

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	645,315	428,998	426,724	66.1
25年3月期	573,637	368,763	366,962	64.0

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
25年3月期	—	—	14	00	—	—	23	00	37	00
26年3月期	—	—	25	00	—	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	25	00	50	00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

(注2) 25年3月期期末配当金の内訳 普通配当18円00銭 記念配当5円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	750,000	15.3	65,000	43.4	62,000	50.4	43,000	42.4	195	34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 有・無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・無
 ② ①以外の会計方針の変更： 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	227,121,372株	25年3月期	227,121,372株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	7,004,109株	25年3月期	6,992,907株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	220,123,769株	25年3月期3Q	220,130,129株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、(a) 当社グループの事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(b) 当社グループ製品・サービスに対する需要動向、(c) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(d) 資金調達環境の大幅な変動、(e) 他社との提携・協力関係、(f) 為替・株式市場の動向、(g) 事故・震災などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。
- 当社は、平成26年1月30日（木）に投資家向け説明会を開催する予定です。その模様および説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(注) 事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

- I A B : インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）
 E M C : エレクトロニック&メカニカルコンポーネントビジネス（電子部品事業）
 A E C : オートモティブ&エレクトロニックコンポーネントビジネス（車載事業）
 S S B : ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービスビジネス（社会システム事業）
 H C B : ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）
 その他： 環境事業推進本部、電子機器事業本部、マイクロデバイス事業推進本部、オムロンレゾナントテクノロジー(株)など

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3) 会計方針の変更	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 1 1
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 1 2
(継続企業の前提に関する注記)	P. 1 2
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 1 2
(セグメント情報等)	P. 1 2
4. 補足情報	P. 1 4
(1) 連結業績概要	P. 1 4
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 1 5
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 1 5
(4) 期中平均レート実績	P. 1 5
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 1 6
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 1 6
(7) 期中平均レート予想	P. 1 6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

○ 全般的概況

当第 3 四半期連結累計期間（平成 25 年 4 月～12 月）における当社グループの業績は、前年同期と比較すると大幅な増収増益となり、全事業セグメントにおいても増収増益となりました。

当第 3 四半期連結累計期間の経済環境認識は以下のとおりです。

<各地域の経済・市場概況>

- 日本： 政府の経済政策などにより緩やかな回復傾向
- 米国： 金融政策の不透明感が後退し、雇用環境の改善などもあり回復傾向
- 欧州： 企業や消費者の景況感は改善し、緩やかな回復傾向が見られる
- 中国： 製造業指数などの各種景気指標には跛行性があり、不透明感が継続
- アジア： 一部の国の景況感悪化などもあり、不透明感が増加

<当社グループの主な関連市場の状況>

- 自動車関連： 国内の設備投資需要は回復傾向、部品需要は新興国などで好調
- 半導体関連： スマートフォンなどの需要により、国内の設備投資需要は回復傾向
- 工作機械関連： 国内・海外の設備投資需要に回復の兆しが見られる
- 家電・電子部品関連： 設備投資需要は回復傾向、部品需要は海外で好調
- 健康機器関連： 新興国での健康意識の高まりなどで需要は堅調

また、当社グループは当期の年度方針を「Complete the GLOBE Stage!、[成長力]×[収益力]×[変化対応力]を備えた『強い企業』への変革を成し遂げる」とし、実行プランとして「IA 事業の最強化」、「新興国での成長」、「最適化新規事業の拡大」、「収益構造改革の完遂」、「グローバル人材の強化」などを重点的に実行しております。当第 3 四半期連結累計期間におきましても、中長期の売上高・利益拡大に向けた施策を実行し、前年同期と比べ、新興国での売上高の増加など、着実に成果をあげつつあります。

当第 3 四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
売上高	4,636 億 81 百万円	5,523 億 93 百万円	+19.1%
営業利益	278 億 48 百万円	483 億 45 百万円	+73.6%
税引前四半期純利益	282 億 16 百万円	464 億 18 百万円	+64.5%
当社株主に帰属する 四半期純利益	206 億 84 百万円	339 億 47 百万円	+64.1%
米ドル平均レート	80.4 円	99.3 円	+18.9 円
ユーロ平均レート	103.2 円	132.1 円	+28.9 円

○ セグメント別の状況

I A B (制御機器事業)

		平成 25 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	870 億 71 百万円	865 億 95 百万円	△0.5%
	海外	1,053 億 81 百万円	1,255 億 79 百万円	+19.2%
	合計	1,924 億 52 百万円	2,121 億 74 百万円	+10.2%
営業利益		215 億 91 百万円	282 億 72 百万円	+30.9%

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成 26 年 3 月期より、「EMC」傘下の一部を「I A B」の事業セグメントに含め開示しています。これに伴い、平成 25 年 3 月期の営業利益を新管理区分に組替えて表示しています。

<国内売上高の状況>

半導体・電子部品業界を中心に顧客の設備投資需要は 9 月以降、回復基調が強まりました。さらに新商品の販売拡大も寄与しましたが、上期低迷を主因に当第 3 四半期連結累計期間における国内売上高は、前年同期並みとなりました。

<海外売上高の状況>

欧州では経済の持ち直しにより南欧が堅調に推移し、需要は前年水準となりました。米州では北米・カナダでの需要に回復傾向が表れてきていますが、石油関連事業が上期低調に推移したことを主因に米州全体では前年同期比で減少しました。中国では電子部品業界等輸出関連の弱含みなどにより前年同期比で減少しました。アジアでは一部の国における自動車・電子部品関連業界などの設備投資需要減少により低調に推移しました。これらの結果、当第 3 四半期連結累計期間における海外売上高は、為替の円安の影響が加わり、前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加や為替の円安の影響により、営業利益は前年同期比で増加しました。

EMC (電子部品事業)

		平成 25 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	196 億 50 百万円	212 億 36 百万円	+8.1%
	海外	422 億 96 百万円	516 億 92 百万円	+22.2%
	合計	619 億 46 百万円	729 億 28 百万円	+17.7%
営業利益		31 億 95 百万円	67 億 96 百万円	+112.7%

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成 26 年 3 月期より、「EMC」傘下の一部を「I A B」の事業セグメントに含め開示しています。これに伴い、平成 25 年 3 月期の営業利益を新管理区分に組替えて表示しています。

<国内売上高の状況>

民生業界および自動車関連業界での需要は減少しましたが、国内景気の回復や上半期の猛暑の影響などにより家電業界の需要は好調に推移しました。これらの結果、当第 3 四半期連結累計期間における国内売上高は、前年同期比で増加しました。

<海外売上高の状況>

中国や韓国ではモバイル業界向けの販売が堅調に推移し、米州では業務民生業界向けの販売が好調に推移しました。欧州では業務民生業界の市場回復を受け需要が拡大しました。これらの結果、当第 3 四半期連結累計期間における海外売上高は、為替の円安の影響もあり、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加や為替の円安の影響に加え、継続的な原価低減の取組みにより、営業利益は前年同期比で大幅に増加しました。

A E C (車載事業)

		平成 25 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売 上 高	国内	232 億 90 百万円	206 億 80 百万円	△11.2%
	海外	483 億 70 百万円	716 億 48 百万円	+48.1%
	合計	716 億 60 百万円	923 億 28 百万円	+28.8%
営 業 利 益		40 億 53 百万円	70 億 3 百万円	+72.8%

<国内売上高の状況>

政府による経済対策の効果やエコカー減税の継続があるものの、2012年9月の補助金終了影響などにより自動車生産台数は前年同期比で減少しました。また、一部商品の海外への生産移管の影響も加わり、これらの結果、当第3四半期連結累計期間における国内売上高は、前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

金融不安による欧州経済の緊縮財政や雇用環境悪化により欧州自動車市場は低迷しましたが、北米市場の回復加速や中国・アジア市場の拡大により好調に推移しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における海外売上高は、為替の円安の影響もあり、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加や為替の円安の影響などにより、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

S S B (社会システム事業)

		平成 25 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売 上 高		368 億 5 百万円	456 億 61 百万円	+24.1%
営 業 利 益 (△ 損 失)		△25 億 88 百万円	△18 億 68 百万円	—

<駅務システム事業の売上高の状況>

鉄道事業各社の駅務機器への設備更新に対する需要は引き続き堅調に推移しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比で増加しました。

<交通管理・道路管理システム事業、およびその他事業の売上高の状況>

交通管理・道路管理システム事業は、管制システムや施設老朽化対策の需要もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期並みに推移しました。

環境ソリューション事業は、引き続き太陽光発電関連商品の堅調な需要により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加により営業利益は前年同期比で損失額が減少しました。

HCB (ヘルスケア事業)

		平成 25 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	216 億 99 百万円	225 億 68 百万円	+4.0%
	海外	302 億 80 百万円	440 億 57 百万円	+45.5%
	合計	519 億 79 百万円	666 億 25 百万円	+28.2%
営業利益		37 億 33 百万円	64 億 49 百万円	+72.8%

<国内売上高の状況>

家庭向け健康機器は新商品(ねむり時計、低周波治療器)の販売が好調に推移するとともに、主力商品である血圧計も堅調に推移しました。また、医療機関向け機器は前年同期並みに推移しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における国内売上高は、前年同期比で増加しました。

<海外売上高の状況>

中国・中南米・インドなどの新興国における健康機器商品への需要増加が継続し、極めて好調に推移しました。この結果、当第3四半期連結累計期間における海外売上高は、為替の円安の影響もあり前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

海外の売上高の増加や為替の円安の影響などにより、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

その他事業

		平成 25 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		441 億 74 百万円	580 億 50 百万円	+31.4%
営業利益		15 億 89 百万円	70 億 89 百万円	+346.1%

その他のセグメントでは、新規事業の探索・育成と、社内カンパニーに属さない事業の育成・強化を本社直轄事業として担当しています。

<環境事業の売上高の状況>

再生エネルギー利用への関心の高まりによる太陽光発電の普及に伴い、国内市場におけるソーラーパワーコンディショナの需要が拡大し、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比で大きく増加しました。

<電子機器事業の売上高の状況>

無停電電源装置の需要は堅調に推移しましたが、電子機器の開発・生産受託サービス販売(EMS)での需要減により、第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比で減少しました。

<マイクロデバイス事業の売上高の状況>

MEMSマイクロフォンチップの需要が拡大し、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比で大きく増加しました。

<バックライト事業の売上高の状況>

スマートフォン市場の好調な推移と当期より参入したタブレット分野での売上高の増加により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

各事業の売上高の増加により、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 3 四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ、現金及び現金同等物の増加などにより 716 億 78 百万円増加して、6,453 億 15 百万円となりました。また、負債の部は支払手形及び買掛金・未払金などの増加により、前連結会計年度末に比べ 114 億 43 百万円増加して、2,163 億 17 百万円となりました。純資産の部は当社株主に帰属する四半期純利益の計上に加え為替換算調整額等の変動により、前連結会計年度末に比べ 602 億 35 百万円増加し、4,289 億 98 百万円となりました。株主資本比率は前連結会計年度末の 64.0%から 66.1%となりました。

当第 3 四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、非支配持分控除前四半期純利益の計上に加え売上債権の回収により、485 億 69 百万円の収入（前年同期比 166 億 37 百万円の収入増）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備等への投資実行などにより、213 億 66 百万円の支出（前年同期比 9 億 45 百万円の支出増）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期債務の増加がある一方で配当金の支払いにより、74 億 24 百万円の支出（前年同期比 31 億 5 百万円の支出増）となりました。以上より、現金及び現金同等物の当第 3 四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ 242 億 58 百万円増加し、799 億 66 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成 25 年 10 月 29 日発表のとおりとし、変更いたしません。

なお、第 4 四半期の業績予想の前提となる為替レートは、1 米ドル 95 円、1 ユーロ 130 円です。

業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(資産の部)				
流 動 資 産	333,694	58.2	388,833	60.2
現金及び現金同等物	55,708		79,966	
受取手形及び売掛金	158,911		160,939	
貸倒引当金	△ 1,988		△ 2,260	
たな卸資産	91,013		114,750	
繰延税金	17,611		19,946	
その他の流動資産	12,439		15,492	
有 形 固 定 資 産	126,835	22.1	135,373	21.0
土 地	26,591		26,669	
建物及び構築物	137,821		142,299	
機械その他	156,186		167,730	
建設仮勘定	6,729		9,812	
減価償却累計額	△ 200,492		△ 211,137	
投 資 そ の 他 の 資 産	113,108	19.7	121,109	18.8
関連会社に対する 投資及び貸付金	17,939		20,654	
投資有価証券	38,193		47,469	
施設借用保証金	6,914		7,095	
繰延税金	30,612		25,099	
その他の資産	19,450		20,792	
資 産 合 計	573,637	100.0	645,315	100.0

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(負債の部)				
流 動 負 債	145,701	25.4	161,155	25.0
短 期 債 務	5,570		9,136	
支払手形及び買掛金・未払金	75,592		81,129	
未 払 費 用	32,818		31,886	
未 払 税 金	3,907		7,515	
そ の 他 の 流 動 負 債	27,814		31,489	
繰 延 税 金	595	0.1	766	0.1
退 職 給 付 引 当 金	56,944	9.9	52,563	8.1
そ の 他 の 固 定 負 債	1,634	0.3	1,833	0.3
負債の部合計	204,874	35.7	216,317	33.5
(純資産の部)				
株 主 資 本	366,962	64.0	426,724	66.1
資 本 金	64,100	11.2	64,100	9.9
資 本 剰 余 金	99,066	17.3	99,066	15.4
利 益 準 備 金	10,876	1.9	11,196	1.7
そ の 他 の 剰 余 金	253,654	44.2	281,778	43.7
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 44,349	△ 7.7	△ 12,990	△ 2.1
為 替 換 算 調 整 額	△ 14,224		11,160	
退 職 年 金 債 務 調 整 額	△ 39,730		△ 38,782	
売却可能有価証券未実現損益	9,580		15,297	
デリバティブ純損益	25		△ 665	
自 己 株 式	△ 16,385	△ 2.9	△ 16,426	△ 2.5
非 支 配 持 分	1,801	0.3	2,274	0.4
純資産の部合計	368,763	64.3	428,998	66.5
負債及び純資産合計	573,637	100.0	645,315	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第3四半期連結累計期間 〔自平成24年4月1日 至平成24年12月31日〕		当第3四半期連結累計期間 〔自平成25年4月1日 至平成25年12月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	463,681	100.0	552,393	100.0		
売 上 原 価	292,730	63.1	338,568	61.3		
売 上 総 利 益	170,951	36.9	213,825	38.7		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	110,972	24.0	131,602	23.8		
試 験 研 究 開 発 費	32,131	6.9	33,878	6.1		
営 業 利 益	27,848	6.0	48,345	8.8		
そ の 他 費 用 (△ 収 益) - 純 額 -	△ 368	△ 0.1	1,927	0.4		
税 引 前 四 半 期 純 利 益	28,216	6.1	46,418	8.4		
法 人 税 等	9,142	2.0	15,574	2.9		
持 分 法 投 資 損 益 (△ 利 益)	△ 1,542	△ 0.3	△ 3,348	△ 0.6		
非 支 配 持 分 控 除 前 四 半 期 純 利 益	20,616	4.4	34,192	6.1		
非 支 配 持 分 帰 属 損 益 (△ 損 失)	△ 68	△ 0.0	245	0.0		
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	20,684	4.4	33,947	6.1		

(四半期連結包括損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
		金 額	金 額
非支配持分控除前 四半期純利益		20,616	34,192
その他の包括利益－税効果考慮後			
為 替 換 算 調 整 額		9,657	25,612
退 職 年 金 債 務 調 整 額		709	948
売却可能有価証券未実現損益	△	759	5,717
デリバティブ純損益	△	58	△ 690
その他の包括利益(△損失)計		9,549	31,587
四半期包括利益		30,165	65,779
(内訳)			
非支配持分に帰属する四半期包括利益		12	473
当社株主に帰属する四半期包括利益		30,153	65,306

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
			〔自平成24年4月1日〕 〔至平成24年12月31日〕		〔自平成25年4月1日〕 〔至平成25年12月31日〕	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー						
1. 非支配持分控除前四半期純利益				20,616		34,192
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整						
(1) 減価償却費		16,402			18,316	
(2) 固定資産除売却損(純額)		136			275	
(3) 長期性資産の減損		—			243	
(4) 投資有価証券売却益(純額)	△	360			△ 1,714	
(5) 投資有価証券の減損		693			488	
(6) 退職給付引当金	△	3,156			△ 3,400	
(7) 繰延税金		872			1,096	
(8) 持分法投資損益(△利益)	△	1,542			△ 3,348	
(9) 資産・負債の増減						
① 受取手形及び売掛金の減少		7,080			9,200	
② たな卸資産の増加	△	6,001			△ 15,295	
③ その他の資産の増加	△	6			△ 1,202	
④ 支払手形及び買掛金・未払金の増加(△減少)	△	2,479			1,173	
⑤ 未払税金の増加		2,608			3,430	
⑥ 未払費用及びその他流動負債の増加(△減少)	△	1,155			4,525	
(10) その他(純額)	△	1,776		11,316	590	14,377
営業活動によるキャッシュ・フロー				31,932		48,569
II 投資活動によるキャッシュ・フロー						
1. 投資有価証券の売却による収入				835		2,824
2. 投資有価証券の取得				—		△ 2,179
3. 資本的支出	△	21,272			△ 22,623	
4. 施設借用保証金の減少(△増加)(純額)		317			△ 29	
5. 有形固定資産の売却による収入		781			460	
6. 事業の売却(現金流出額との純額)		90			26	
7. 事業の買収(現金取得額との純額)		98			—	
8. 非支配持分の買収	△	10			—	
9. 関連会社に対する投資及び貸付金の減少(△増加)	△	1,884			155	
10. その他(純額)		624			—	
投資活動によるキャッシュ・フロー				△ 20,421		△ 21,366
III 財務活動によるキャッシュ・フロー						
1. 短期債務の増加(純額)				922		3,523
2. 親会社の支払配当金	△	6,164			△ 10,566	
3. 非支配株主への支払配当金	△	2			—	
4. 非支配株主からの資本取引による入金額		819			—	
5. その他(純額)		106			△ 381	
財務活動によるキャッシュ・フロー				△ 4,319		△ 7,424
IV 換算レート変動の影響				2,277		4,479
現金及び現金同等物の増減額				9,469		24,258
期首現金及び現金同等物残高				45,257		55,708
四半期末現金及び現金同等物残高				54,726		79,966
営業活動によるキャッシュ・フローの追記						
1. 支払利息の支払額				193		186
2. 法人税等の支払額				5,592		10,259
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記 資本的支出に関連する債務				487		649

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	192,452	61,946	71,660	36,805	51,979	44,174	459,016	4,665	463,681
(2)セグメント間の内部売上高	4,109	33,426	167	2,716	63	13,166	53,647	△ 53,647	—
計	196,561	95,372	71,827	39,521	52,042	57,340	512,663	△ 48,982	463,681
営業費用	174,970	92,177	67,774	42,109	48,309	55,751	481,090	△ 45,257	435,833
営業利益(△損失)	21,591	3,195	4,053	△ 2,588	3,733	1,589	31,573	△ 3,725	27,848

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	212,174	72,928	92,328	45,661	66,625	58,050	547,766	4,627	552,393
(2)セグメント間の内部売上高	5,572	36,513	88	3,089	80	20,765	66,107	△ 66,107	—
計	217,746	109,441	92,416	48,750	66,705	78,815	613,873	△ 61,480	552,393
営業費用	189,474	102,645	85,413	50,618	60,256	71,726	560,132	△ 56,084	504,048
営業利益(△損失)	28,272	6,796	7,003	△ 1,868	6,449	7,089	53,741	△ 5,396	48,345

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成26年3月期より、「EMC」傘下の一部を「I A B」の事業セグメントに含めて開示しています。これに伴い、前第3四半期連結累計期間を新管理区分に組替えて表示しています。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	231,461	59,179	55,906	77,996	39,139	463,681	—	463,681
(2)セグメント間の内部売上高	93,193	1,494	733	54,867	12,538	162,825	△ 162,825	—
計	324,654	60,673	56,639	132,863	51,677	626,506	△ 162,825	463,681
営業費用	308,081	59,033	55,647	123,859	48,073	594,693	△ 158,860	435,833
営業利益(△損失)	16,573	1,640	992	9,004	3,604	31,813	△ 3,965	27,848

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	247,916	72,307	72,836	105,355	53,979	552,393	—	552,393
(2)セグメント間の内部売上高	119,398	2,035	1,230	68,789	16,721	208,173	△ 208,173	—
計	367,314	74,342	74,066	174,144	70,700	760,566	△ 208,173	552,393
営業費用	335,055	74,579	73,111	159,858	64,669	707,272	△ 203,224	504,048
営業利益(△損失)	32,259	△ 237	955	14,286	6,031	53,294	△ 4,949	48,345

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	60,230	59,948	78,870	40,935	239,983
II 連結売上高					463,681
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.0	12.9	17.0	8.9	51.8

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	74,135	76,739	105,698	56,324	312,896
II 連結売上高					552,393
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.4	13.9	19.1	10.2	56.6

(注) 各区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……シンガポール・韓国・インド・豪州

4. 補足情報

(1) 連結業績概要

		第3四半期累計			通期		
		平成25年3月期 第3四半期	平成26年3月期 第3四半期	前年同期比	平成25年3月期	平成26年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	463,681	552,393	119.1%	650,461	750,000	115.3%
営業利益 (率)	百万円 (%)	27,848 (6.0%)	48,345 (8.8%)	173.6% (+2.8P)	45,343 (7.0%)	65,000 (8.7%)	143.4% (+1.7P)
税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	28,216 (6.1%)	46,418 (8.4%)	164.5% (+2.3P)	41,237 (6.3%)	62,000 (8.3%)	150.4% (+2.0P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	20,684	33,947	164.1%	30,203	43,000	142.4%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	93円96銭	154円22銭	+60円26銭	137円20銭	195円34銭	+58円14銭
潜在株式調整後 1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	93円96銭	—	—	137円20銭	—	—
総資産	百万円	559,473	645,315	115.3%	573,637		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	347,900 (62.2%)	426,724 (66.1%)	122.7% (+3.9P)	366,962 (64.0%)		
1株当たり株主資本	円 銭	1,580円43銭	1,938円62銭	+358円19銭	1,667円04銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	31,932	48,569	+16,637	53,058		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	△20,421	△21,366	△945	△28,471		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△4,319	△7,424	△3,105	△18,550		
現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高	百万円	54,726	79,966	+25,240	55,708		

(注) 連結子会社数は156社、持分法適用関連会社数は10社です。

(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		平成25年3月期 第3四半期累計	平成26年3月期 第3四半期累計	前年同期比
I A B	国内	871	866	99.5%
	海外	1,054	1,256	119.2%
	計	1,925	2,122	110.2%
E M C	国内	196	212	108.1%
	海外	423	517	122.2%
	計	619	729	117.7%
A E C	国内	233	207	88.8%
	海外	484	716	148.1%
	計	717	923	128.8%
S S B	国内	367	456	124.1%
	海外	1	1	101.9%
	計	368	457	124.1%
H C B	国内	217	225	104.0%
	海外	303	441	145.5%
	計	520	666	128.2%
その他	国内	314	391	124.6%
	海外	128	190	148.0%
	計	442	581	131.4%
消去調整他	国内	39	38	96.2%
	海外	7	8	115.2%
	計	46	46	99.2%
合 計	国内	2,237	2,395	107.1%
	海外	2,400	3,129	130.4%
	(海外比率)	(51.8%)	(56.6%)	(+4.8P)
	計	4,637	5,524	119.1%

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

	平成25年3月期 第3四半期累計	平成26年3月期 第3四半期累計	前年同期比
I A B	216	283	130.9%
E M C	32	68	212.7%
A E C	41	70	172.8%
S S B	△ 26	△ 19	—
H C B	37	64	172.8%
その他	16	71	446.1%
消去調整他	△ 38	△ 54	—
合計	278	483	173.6%

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成26年3月期より、「EMC」傘下の一部を「IAB」の事業セグメントに含めて開示しています。これに伴い、平成25年3月期の営業利益を新管理区分に組替えて表示しています。

(4) 期中平均レート実績

(1外貨当たり 円)

	平成25年3月期 第3四半期累計	平成26年3月期 第3四半期累計	前年同期比
USD	80.4	99.3	+18.9
EUR	103.2	132.1	+28.9

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

		平成25年3月期	平成26年3月期 予想	前期比
I A B	国内	1,163	1,145	98.5%
	海外	1,467	1,685	114.9%
	計	2,630	2,830	107.6%
E M C	国内	267	285	106.9%
	海外	574	695	121.0%
	計	841	980	116.5%
A E C	国内	302	280	92.5%
	海外	674	930	138.0%
	計	976	1,210	123.9%
S S B	国内	685	820	119.8%
	海外	3	10	327.9%
	計	688	830	120.7%
H C B	国内	295	310	105.1%
	海外	420	570	135.6%
	計	715	880	123.0%
その他	国内	414	440	106.2%
	海外	178	280	157.1%
	計	592	720	121.5%
消去調整他	国内	54	40	74.8%
	海外	9	10	115.5%
	計	63	50	79.4%
合 計	国内	3,180	3,320	104.4%
	海外	3,325	4,180	125.7%
	(海外比率)	(51.1%)	(55.7%)	(+4.6P)
	計	6,505	7,500	115.3%

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	平成25年3月期	平成26年3月期 予想	前期比
I A B	313	370	118.0%
E M C	44	85	195.4%
A E C	50	85	169.7%
S S B	29	55	188.7%
H C B	44	75	170.2%
その他	25	70	277.1%
消去調整他	△ 52	△ 90	—
合計	453	650	143.4%

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成26年3月期より、「EMC」傘下の一部を「IAB」の事業セグメントに含めて開示しています。これに伴い、平成25年3月期の営業利益を新管理区分に組替えて表示しています。

(7) 期中平均レート予想

(1外貨当たり 円)

	平成25年3月期	平成26年3月期 予想	前期比
USD	83.2	98.3	+ 15.1
EUR	107.6	131.6	+ 24.0